

## であうアート展

茨城県龍ケ崎市 × 学校法人日通学園 流通経済大学

### 取組概要

一般財団法人NHKサービスセンターと流通経済大学、龍ケ崎市が連携して障がい者の通所施設で制作された絵画などアートの展示イベントを開催。作品の選定等は学生の教育プログラムとして施設との交流を図り、共生社会に向けた相互理解・認知向上を図った

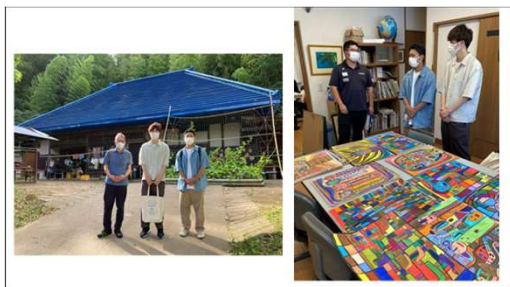


流通経済大学図書館で展示

### 基本情報

|            |   |
|------------|---|
| 代表地方公共団体   | 茨城県龍ケ崎市   |
| 代表民間団体     | 学校法人日通学園 流通経済大学   |
| 他の連携団体等    | 一般財団法人 NHKサービスセンター  |
| カテゴリ       | 教育プログラム・学力向上／障がい者福祉／文化・コミュニティ対策   |
| 事業費        |   |
| めざすSDGsゴール |  |
| 事業化までの期間   | 2021年春に事業化開始、10月～11月に初回の展示開催。本年は10月～11月に2回目開催。                                      |

### 取組内容



千葉県にある作業所を学生たちが訪問・交流した

|             |  |
|-------------|--|
| この取組で解決した課題 | 障がい者とともに生きる「共生社会」の実現に向けて、市民や学生の認知を向上させ、さらには教育プログラムとして継承していくための具体的な取り組みとして、目に見える形で実現した。   |
| 解決に向けた手法    | 龍ケ崎市が展示会場を提供し、市民への広報を担った。流通経済大学は展示会場を提供するとともに、学生の教育プログラムとして、作業所との交流をはかり、学生による作品の選定や作者の紹介キャプションの制作をおこなった。全体のイベント展開と展示の具体的な設計、作業所とのコーディネーションをNHKサービスセンターが担当。具体化までおよそ半年で実現するとともに、教育プログラムとしての具体的な作業所との交流は、コロナ感染症により中断を余儀なくされ、2年こしてブラッシュアップしていった。 |

## 取組詳細

|                |   |
|----------------|---|
| 事業推進上の各団体の役割分担 | 龍ヶ崎市が展示会場と広報を担当。流通経済大学が展示会場と教育プログラムの開発。NHKサービスセンターが全体コーディネートと展示の運営実務を担当した。  |
| 地域関係者との連携方法    | 地域の作業所には、学生との交流と作品の提供のために、企画当初から参加してもらい、具体的なアイデア出しからともに議論して、作り上げた。  |
| 資金調達方法         | 流通経済大学と龍ヶ崎市が負担  |
| 資金調達方法の補足      |   |
| 事業推進上の課題・工夫    | 学生が主体的に障がい者施設との交流を行い、作品と作家を発見し、まさに「であう」というコンセプトで最終的には作品展を作り上げていく。そのプロセス全体を「学び」として位置付けるところが、本企画の新鮮さであり、工夫したポイントである。これは、一回の展示会で「完成」するものではなく、一種のフィールドワークとして、つねに継承し、発展させていくことをめざし、今後も継続させていく。 |

## 担当者のコメント

この事業を通じて学生たちが、障がいのあるアーティストと交流し、それぞれが強いインパクトをうけ、成長していく姿が素晴らしい。こうした取り組みが地域社会を変えていくと確信している

## 優良事例応募項目

|                |   |
|----------------|---|
| 取組のポイント（3つの視点） | <p>①地方創生SDGsの視点<br/>障がい者福祉、共生社会といったSDGsの基本ともいえる目標に向けて、市民の意識改革を継続的にすすめる教育プログラムとして、将来にわたって継続的に課題解決に取り組んでいく</p> <p>②ステークホルダーとの連携<br/>自治体の広報事業をベースに据えて、大学の学生を巻き込んだ教育プログラムとして、さらにNHKサービスセンターが得意とするプレゼンテーション力を活用し、まさにそれぞれの強みを生かした魅力あるイベントとして、市民へ訴求効果が高い。</p> <p>③モデル性・波及性<br/>自治体と大学という、どの地域でも連携可能な体制でありながら、障がい者福祉から共生社会を目指す取り組みとして、「教育」を中核に据えたところに「普遍性」と「新規性」の双方を満たしている。</p> |
|----------------|---|